

海女の愛ちゃんが湯く！

サステナブル ツーリズム編



皆さんこんにちは。海女の愛ちゃんです。令和3年からスタートした鳥羽市温泉振興会のメールマガジン「海女の愛ちゃんが湯く」は、これまで海藻の奥深い魅力や楽しみ方を、私がレポーターとして取材し19回配信してきました。

3月は海藻シーズン真っ盛りですが、今年の発育状態が気になります。これまで取材にお伺いした生産者さんの顔が浮かびます。また年末年始の帰省の際に、関東の太平洋側の温泉に何ヶ所か行きましたが、泉質や効能も読んでしまう癖がすっかりついてしまいました（笑）

SDGsにダイブ！

さて、メルマガ第3弾はサステナブルツーリズムが大きな注目を集めている今、鳥羽の温泉宿泊施設が行う海の環境や地球環境にやさしい取り組みを取材し情報発信することで、それらの取り組みの一層の広がりを生むストーリー展開を目指しています。

今回は嬉しいことにレポーターとして鳥羽市観光課のお二人（北橋亜由那さん、フランス人国際交流員カゾ・ポーリンさん）に協力いただくことになりました。また、伊勢市を中心に活躍されているイラストレーターの大西絵里奈さんにも協力いただきます。

写真の展示の様子



私事で恐縮ですが昨年11月にフランス南部の都市セートの海洋博物館で、海女をテーマにしたフランス初の展示会が開催され、私の写真の展示や講演会を実施することができました。講演会では私が話し終える前から質問の手が次から次へと挙がって、反応の良さにとても驚きました。博物館の担当者によると「過去の企画展よりも二割ほど来場者が多く、海女という職業への関心が高いことの証拠」とのことでした。

半世紀で8分の1程度に減ってしまった海女ですが、「日本一海女が多い鳥羽市」の温泉宿での持続可能な取り組みなど、みんなで力を合わせて鳥羽の良さを一つでも多くフランスにも広めたいですね。カゾ・ポーリンさんによるSNS発信も楽しみにしています。

それでは『サステナブルツーリズム編』の1回目は、鳥羽シーサイドホテルです。

鳥羽シーサイドホテルの 取り組み

01



ボードゲームの活用で SDGs への意識を高める

坂口営業部長さんによると、鳥羽シーサイドホテルでは、「伊勢志摩地域における体験教育旅行の受入環境整備事業費補助金」を活用し、修学旅行生や企業等を対象に「SDGs ボードゲーム」を使用した研修プログラムを造成しています。

SDGs ボードゲームとは？

SDGs に関する取り組み事例を分かりやすく、かつ楽しみながら学ぶツールとして、未来技術推進協会が開発したオリジナルボードゲームです。SDGs に関する世界の課題解決事例を楽しく学びながら「SDGs 達成」と「自己成長」を目指します。大人から子供まで、SDGs の理解だけでなく、協力の大切さや広く深く考える思考力、現場感や課題感を養うことができます。

研修プログラム造成の目的

プログラムをお客様に提供し、教育旅行や企業研修の誘致に繋げることを目的としています。プログラム造成にあたり、営業担当の社員3名が SDGs ボードゲームファシリテーター認定講座を受講し、資格を取得しました。資格を取得した社員がファシリテーターとなり、社員に向けた研修を複数回（3, 4回）実施し、社員の SDGs への理解を深めようとしている最中です。

研修後の社員の意識の変化

自分たちの取り組みは、何番の取り組みだな、と考えるようになったと思います。このゲームを通して社員全体の意識を高め、お客様にも SDGs の学びを提供できるお宿となるように取り組んでいきたいです。



Reporter

フランス人国際交流員 カゾ・ポーリンの感想

フランス人は環境に対する意識は高いのですが、日本のように SDGs の何番に取り組んでいるという意識はあまり持っていません。また、SDGs という言葉は使わず、サステナビリティという言葉を使います。フランスでも、ボードゲームはよくプレイされていますが、SDGs を学ぶことを目的としたボードゲームというのはとても独創的で、私は初めて目にしました。ゲームの1ターンが1年に相当することで、対策が急がれる感覚がとてもわかりやすく面白かったです。プレイしながらテーマ（社会課題）を鳥羽市のことに落とし込んで真剣に話し合うことは、とても良い経験となりました。



鳥羽市観光課 北橋亜由那の感想

数多くある SDGs を学ぶツールの中でも、自称ボードゲームマニア（笑）である坂口部長さんが厳選されたゲームということもあって、私たちも楽しませていただきました。手持ちのコインを出し合うときの交渉も面白かったですね。

「私は手持ちが1コインしかないから、海岸清掃活動（SDGs 目標 14. 海の豊かさを守ろう）を達成するお金が足りないなあ。」「では、私が2コイン出資するので一緒に達成しましょう。」そんなやり取りもあったり...

営業部の奥村さんが、「ゲームを通してトレードオフの考え方やコストについても学ぶことができ、自ら考えることに繋がる」と言われていたのは、こういうことだったのだなと思いました。



ボードゲームマニアのお墨付き!!





担当者の意気込み

担当の奥村春美さんは、「修学旅行生は複数の観光施設等を見学した後に宿に来られるので、宿の滞在時間からSDGsボードゲームの時間を何とか確保したい。そのためには自分から積極的に情報発信をしていきたい」と意気込みを聞かせていただきました。

愛ちゃん感想

サステナブルツーリズム、SDGsって結局何??難しそうだなと思っていましたが、世界中で起きている環境や社会のリアルな課題や課題解決事例を元に構成されているこのSDGsボードゲームで遊ぶうちに「あ、こう言うことね」と分かってきました。これは日本だったらどうするのかな??鳥羽の場合は?と、自然と考えるようになり勉強になりましたね!!

SDGsボードゲームを使って既に4回も社内研修をされている事は、素晴らしいと思いました。SDGsボードゲームのファシリテーター資格も取得した奥村さんも、とても自信に満ちていて素敵です。ホームページでも是非ともPRしてほしいと思いました。ホテルの自慢は、ホテルから見える鳥羽の海の景色だと思います。この鳥羽の海のことを大切に考えている鳥羽シーサイドホテルの皆さんのことを知れば、来たくなる人が増えるのではないのでしょうか。

鳥羽シーサイドホテル

三重県鳥羽市安楽島町 1084

☎ 0599-25-5151

<https://www.tobaseasidehotel.co.jp/>



メンバー紹介

レポーター/写真
大野愛子



東京都出身海女、フォトグラファー。海女歴も8年目を迎えました。どんな1年になるか、楽しみも半分不安も半分です。

レポーター
カゾ・ポーリン



鳥羽市観光課所属。フランス人国際交流員としてインバウンドに向けた鳥羽市の観光PRや、異文化を伝える活動を行っています!

●フランス語で発信中!「Fantastique Toba」
https://www.instagram.com/Fantastique_Toba/

レポーター
北橋亜由那



鳥羽市観光課所属。エコツーリズム、国立公園、バリアフリー観光等を担当。鳥羽のお宿のサステナブルな取り組みに興味津々!

イラスト/デザイン
大西絵里奈



松阪市在住イラストレーター。今回からデザイン担当で参加します。取材を通して鳥羽のことを知れるのが楽しみです!